



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3304		
科目名	アンチドーピング論		
担当教員	富樫 俊文		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	金 1		
講義室	1501	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1 - E 学識・専門技能 スポーツ生理学分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>D P 3 - G 状況把握力・判断力 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモングループリック (C R) との関連 E 1 学識と専門技能 (75%) G 1 状況把握 (25%)</p>		
教員の実務経験	担当教員の大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験から、教科書や文献を読むだけでは得られない知識や体験談を交えながら、現実的な視点で勤めています。(全回)		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ~ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本講義ではドーピングについて総合的に学ぶことを目的とします。ドーピングのルール・規制に限らず、ドーピングチェックの方法、薬物の種類などを実際に起こった事例を基に、資料・視聴覚教材等を用いて説明します。特に最新のドーピング事情を扱い、アスリートとしてだけでなく将来指導者になった際にドーピングについての正しい指導・教育ができる人材の育成を目的とします。授業形態は講義形式です。なお、対応するコンピテンスに基づいた効果的な授業方法として、または各授業を補完・代替するため、オンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード ドーピング、WADA、JADA		
授業の趣旨	<p>■副題 なぜドーピング防止に取り組まなければならないのかを理解するとともに、国内外のドーピング防止の動向と組織について学修します。</p> <p>■授業の目的 ドーピングコントロールの全体像とドーピング検査の具体的な手順について理解を深め、スポーツ指導者はどのように対応すべきかを説明できるようになることを目的とします。</p> <p>■授業のポイント アンチ・ドーピングについてWADAおよびJADAのホームページを確認しておくことが重要です。</p>		
総合到達目標	<p>■スポーツの価値とドーピング防止に関する理解を深めるために、ドーピングとはどういうことか、ドーピングは何故いけないのかについて学び、ドーピング規則違反について正しく修得し、他の競技者に対して伝えることができるようになる。</p> <p>・スポーツの価値、ドーピングとは何か、なぜドーピングはいけないのかについて説明でき</p>		

	<p>る。(第1～3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドーピングの歴史、世界ドーピング防止機構、日本アンチ・ドーピング機構、ドーピングコントロールについて説明できる。(第4～6回) ・ドーピング検査の実際、TUE、禁止薬物と使用可能薬物の違い、うっかりドーピングについて説明できる。(第7～12回) <p>スポーツ指導者としての役割について説明できる。(第13～15回)</p>												
成績評価方法	<p>■レポート(70%)：適用ルーブリック E1・G1 (評価の観点) 授業内容の理解度を図ります。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行います。</p> <p>■リアクションペーパー(30%)：適用ルーブリック E1・G1 (評価の観点) 授業の内容を踏まえて理論立てて明確に説明できるかを評価します。 (フィードバック方法) 後日個別に対応します。</p>												
履修条件	特にありません。												
履修上の注意点	特にありません。												
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえた授業の進め方や評価について説明を行う。また、授業の授業テーマやその方法を学ぶ(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) シラバスの内容をよく確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 配付資料を整理してまとめておく。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①授業テーマ スポーツの精神・価値</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、スポーツにおける Excellence、Friendship、Respectについて説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 前回配布された資料 (JADA：アンチ・ドーピングを通して考える；第1章 p 1-22) を確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、フェアプレイについて自分なりにまとめておく。</p> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>①授業テーマ スポーツ共通の全世界的なルール</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、スポーツの固有の価値を守るアンチドーピング活動について説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 前回配布資料 (JADA：アンチ・ドーピングを通して考える；第2章 p 23-38) を確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、アンチドーピングのルールについて自分なりにまとめておく。</p> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> <p>①授業テーマ ドーピングとは何か。ドーピング防止の歴史的背景</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、ドーピング防止の考え方とその歴史的な背景について説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書及び参考資料を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、ドーピング防止について自分なりにまとめておく。</p> </td> </tr> <tr> <td>5</td> <td> <p>①授業テーマ 世界ドーピング防止機構および日本アンチドーピング機構について、および世界ドーピング防止規定および我が国の対応</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、国内外のドーピング防止組織および規定、教育・啓発活動について学び、説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書及び参考資料を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、国内外のドーピング防止組織・教育・啓発活動について自分なりにまとめておく。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえた授業の進め方や評価について説明を行う。また、授業の授業テーマやその方法を学ぶ(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) シラバスの内容をよく確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 配付資料を整理してまとめておく。</p>	2	<p>①授業テーマ スポーツの精神・価値</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、スポーツにおける Excellence、Friendship、Respectについて説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 前回配布された資料 (JADA：アンチ・ドーピングを通して考える；第1章 p 1-22) を確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、フェアプレイについて自分なりにまとめておく。</p>	3	<p>①授業テーマ スポーツ共通の全世界的なルール</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、スポーツの固有の価値を守るアンチドーピング活動について説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 前回配布資料 (JADA：アンチ・ドーピングを通して考える；第2章 p 23-38) を確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、アンチドーピングのルールについて自分なりにまとめておく。</p>	4	<p>①授業テーマ ドーピングとは何か。ドーピング防止の歴史的背景</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、ドーピング防止の考え方とその歴史的な背景について説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書及び参考資料を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、ドーピング防止について自分なりにまとめておく。</p>	5	<p>①授業テーマ 世界ドーピング防止機構および日本アンチドーピング機構について、および世界ドーピング防止規定および我が国の対応</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、国内外のドーピング防止組織および規定、教育・啓発活動について学び、説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書及び参考資料を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、国内外のドーピング防止組織・教育・啓発活動について自分なりにまとめておく。</p>
回	内容												
1	<p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえた授業の進め方や評価について説明を行う。また、授業の授業テーマやその方法を学ぶ(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) シラバスの内容をよく確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 配付資料を整理してまとめておく。</p>												
2	<p>①授業テーマ スポーツの精神・価値</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、スポーツにおける Excellence、Friendship、Respectについて説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 前回配布された資料 (JADA：アンチ・ドーピングを通して考える；第1章 p 1-22) を確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、フェアプレイについて自分なりにまとめておく。</p>												
3	<p>①授業テーマ スポーツ共通の全世界的なルール</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、スポーツの固有の価値を守るアンチドーピング活動について説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 前回配布資料 (JADA：アンチ・ドーピングを通して考える；第2章 p 23-38) を確認しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、アンチドーピングのルールについて自分なりにまとめておく。</p>												
4	<p>①授業テーマ ドーピングとは何か。ドーピング防止の歴史的背景</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、ドーピング防止の考え方とその歴史的な背景について説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書及び参考資料を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、ドーピング防止について自分なりにまとめておく。</p>												
5	<p>①授業テーマ 世界ドーピング防止機構および日本アンチドーピング機構について、および世界ドーピング防止規定および我が国の対応</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、国内外のドーピング防止組織および規定、教育・啓発活動について学び、説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書及び参考資料を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、国内外のドーピング防止組織・教育・啓発活動について自分なりにまとめておく。</p>												

6	<p>①授業テーマ ドーピングコントロールの全体像</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、ドーピングコントロールの全体像、競技会および競技外におけるドーピング検査の種類について学び、説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書を通および参考資料を読んでおく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、ドーピングコントロールの全体像について自分なりにまとめておく。</p>
7	<p>①授業テーマ ドーピング検査の手順</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、ドーピング検査の実際の手順について、資料およびVTRをみながら理解する(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書及び参考資料を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、ドーピング検査の手順について自分なりにまとめておく。</p>
8	<p>①授業テーマ ドーピング検査の結果管理、制裁、上訴</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、ドーピング検査の結果管理、およびドーピング違反に対する制裁措置およびその上訴システムを学び、説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、ドーピング検査の結果管理、制裁、上訴について自分なりにまとめておく。</p>
9	<p>①授業テーマ 禁止薬物と使用可能薬物</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、禁止薬物と使用可能薬物について学び、説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書及び参考資料を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、禁止薬物と使用可能薬物について自分なりにまとめておく。</p>
10	<p>①授業テーマ うっかりドーピング、注意すべき市販薬</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、うっかりドーピングや注意すべき市販薬について、実務経験に基づいた実際例を踏まえて理解する(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 自分が今まで服用したことがある市販薬について調べておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、注意すべき市販薬について自分なりにまとめておく。</p>
11	<p>①授業テーマ TUE治療目的使用にかかわる除外措置</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、事前申告を必要とする薬物について、およびTUE申請方法について学び、説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書及び参考資料を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 講義内容を確認し、TUEについて自分なりにまとめておく。</p>
12	<p>①授業テーマ スポーツ指導者の役割</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、ドーピングコントロールにおけるスポーツ指導者の役割について学び、説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 教科書及び参考資料を通読しておく。</p> <p>④復習(120分) 配付資料(スポーツ指導者のための倫理ガイドライン@日本スポーツ協会)および講義内容を確認し、自分なりにまとめておく。</p>
13	<p>①授業テーマ 理解度確認</p> <p>②授業概要 これまで学修してきたドーピング論についての確認とともに授業内理解度確認テストを行う。</p> <p>③予習(120分) これまでに学んだ内容の総復習をしておく。</p> <p>④復習(120分) これまで学んだことと理解度確認テストの内容を振り返り、知識の再検証をする。</p>
14	<p>①授業テーマ スポーツ競技別のアンチ・ドーピングの取り組み</p> <p>②授業概要 大学病院勤務の理学療法士として、および各種スポーツ競技のアスレティックトレーナーとしての経験に基づいた講義を踏まえて、さまざまなスポーツ団体におけるアンチ・ドーピングについて説明できる(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 今まで配布された資料を確認しておく。</p>

	<p>④復習(120分) 競技者に対してドーピング防止に関する知識を正しく伝えられるようまとめておく。</p>
15	<p>①授業テーマ ドーピング論に関する総括 ②授業概要 これまで学修してきたことを総括する(E1、G1)。 ③予習(120分) 今までの講義内容および配付資料、テキストを読み直し、ドーピングに関する知識を整理し自分の考えも含めて論じられるように準備する。 ④復習(120分) まとめおよび試験の内容を振り返り、ドーピング論に関する知識を再検証するとともに今後の学修計画を考える。</p>
関連科目	スポーツ医学の基礎 (SSCS2310)、機能解剖学の基礎 (SSCS2311)
教科書	<p>(書名) 実践に向けたスポーツ (著者名) 布袋屋浩, 中島理恵, 加藤幸真科学の基礎・応用 (出版社名) ポラーノ出版 (定価) 2,300円+税</p>
参考書・参考URL	<ul style="list-style-type: none"> ・ Global DRO (https://www.globaldro.com/home/index?changelang=ja-jp) ・ 日本アンチ・ドーピング機構HP (http://www.playtruejapan.org) ・ アンチ・ドーピングを通して考える—スポーツのフェアとは何か— (http://www.playtruejapan.org/school/jada_textbook_01.pdf) ・ スポーツ共通の全世界的なルールのスポーツの固有の価値を守るアンチ・ドーピング活動の推進— (http://www.playtruejapan.org/school/jada_textbook_02.pdf) ・ 競技スポーツをする人が注意すべきこと—医薬品とサプリメント (http://www.playtruejapan.org/school/jada_textbook_03.pdf)
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先：開講時に告知します。 ■オフィスアワー：開講時に告知します。 それ以外の時間についてはメール等でアポイントをとればラーニングセンターや研究室等に対応します。</p>
研究比率	

